

小規模企業景気動向調査

[平成28年6月期調査]

～建設業が持ち直したものの、全体として横ばいの小規模企業景況～

2016年7月27日
全国商工会連合会

<調査概要>

調査対象：全国約300商工会の経営指導員

調査時点：2016年6月末

調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

<産業全体> ◇…建設業が持ち直したものの、全体として横ばいの小規模企業景況…◇

6月期の小規模企業景気動向調査では、産業全体の業況DI(景気動向指数・前年同月比)は不変となった。項目別に見ると、売上額DIは小幅に悪化、採算DIはわずかに悪化、資金繰りDIは若干の改善となった。経営指導員からは、地域経済に大きな変化はないが、建設業の動きが活発であるとの報告がある一方、前年と比較して個人消費が伸び悩んでいるため購買力の低下により、特に小売業の悪化が顕著になっているとの報告があった。

<製造業> ◇…繊維・食料品関係で仕入れ等のコスト増加により採算が悪化した製造業…◇

製造業の業況DIは、若干の悪化となった。項目別に見ると、売上額及び採算DIは小幅に悪化、資金繰りDIはわずかに悪化となった。経営指導員から、悪化材料として、①輸出関連は、円高や海外の生産体制縮小により引き続き低迷傾向にある、②食料品製造業で仕入単価の高騰により採算が悪化している。また、好転材料としては、自動車関連や金属関連で受注が増加しているとの報告があった。

<建設業> ◇…原材料の高騰が一定の落ち着きを見せ、小幅に持ち直した建設業…◇

建設業の業況DIは、小幅に改善となった。項目別に見ると、売上額DIはわずかな改善、採算及び資金繰りDIは、小幅の改善となった。経営指導員から、好転材料としては、①リフォーム工事の受注が増加している、②堅調に推移しているが昨年より上がり幅は落ち着いている。また、悪化材料として、①原材料の高騰はやや安定したが、依然として人手不足が経営課題となっている、②手持ち工事数が例年より少ない、③公共工事の発注減による価格競争が厳しいとの報告があった。

<小売業> ◇…個人消費の落ち込みにより、売上が大幅に悪化した小売業…◇

小売業の業況DIは、若干の悪化となった。項目別に見ると、売上額DIは大幅悪化、採算DIは小幅の悪化、資金繰りDIは不変となった。経営指導員から、悪化材料として、①消費マインドの低迷により、売上が伸び悩んでいる、②衣料品小売業で天候不順や仕入れ値の上昇により採算が厳しい、③食料品関係では仕入単価の上昇により、利益の上昇に繋がらない。また、好転材料として、①食品関連で高齢者の顧客がわずかに増加している、②観光需要やインバウンド需要、また域外への物流需要などに注力する企業は景況感が良いとの報告があった。

<サービス業> ◇…一部の観光業で回復の兆しはあるが、力強さを欠き足踏み状態のサービス業…◇

サービス業の業況DIは、変化なし。項目別に見ると、売上額DIは小幅の悪化、採算DIはわずかに悪化、資金繰りDIは小幅の改善となった。経営指導員から、悪化材料としては、①クリーニング関連で材料費の高騰により売上が減少している、②熊本地震の影響により、観光地の宿泊キャンセル等が発生していることや飲食店での外食控えが感じられる。また、好転材料として、①飲食店関連で観光客の増加により休日の稼働がよい、②宿泊関連で予約状況が昨年より早いとの報告があった。

業種	産業全体			製造業			建設業		
	5月	6月	前月比	5月	6月	前月比	5月	6月	前月比
売上額	▲ 21.0	▲ 23.2	▲ 2.2	▲ 13.5	▲ 15.5	▲ 2.0	▲ 20.2	▲ 19.6	0.6
採算	▲ 23.7	▲ 24.5	▲ 0.8	▲ 20.8	▲ 25.7	▲ 4.9	▲ 27.5	▲ 22.8	4.7
資金繰り	▲ 21.1	▲ 19.8	1.3	▲ 17.3	▲ 18.4	▲ 1.1	▲ 25.1	▲ 22.1	3.0
業況	▲ 27.3	▲ 27.3	0.0	▲ 20.7	▲ 22.1	▲ 1.4	▲ 30.1	▲ 26.7	3.4

業種	小売業			サービス業		
	5月	6月	前月比	5月	6月	前月比
売上額	▲ 28.5	▲ 33.7	▲ 5.2	▲ 21.6	▲ 23.8	▲ 2.2
採算	▲ 28.3	▲ 30.8	▲ 2.5	▲ 18.2	▲ 18.7	▲ 0.5
資金繰り	▲ 23.9	▲ 23.5	0.4	▲ 18.2	▲ 15.5	2.7
業況	▲ 34.2	▲ 35.6	▲ 1.4	▲ 24.2	▲ 24.6	▲ 0.4

注) DI(景気動向指数)は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。